

(学校番号043) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮小学校】

4月28日		
目標・策		
知識・技能	当該学年で習得すべき漢字の読み書きができる。(自校テストで8割以上にする。) たし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。(自校テストで8割以上にする。)	⇒ 1人1台端末に触れる機会を設定し、その時間を確保する。 授業の導入等で1人1台端末を使い、児童の学習意欲の喚起を図る。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査【生活習慣等に関する調査】における「教育の情報化推進事業」の肯定的な回答を前年度を維持もしくは向上させる。	⇒ 学年会や教材研究の時間を確保し、授業に関わる協議を日常化・活発化させることで、実態と課題に合った指導の方策を構想する。 思考の視点やグループ協議の役割などを明確にして、授業に取り入れる。
主体的に学習に取り組む態度	「よい授業」の因子④(児童生徒の活動)の肯定的回答を前年度を維持もしくは向上させる。	⇒ 昨年度までの研究成果「安心感のある学級集団づくり」を共有・継続する。 研修の時間や授業公開、授業に関する協議会を設け、授業改善を促進させる。

9月20日		
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒

8月26日	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
【国語】選択式・短答式ともによく回答できている。これに対して、記述式の正答率がやや低くなっている。特に3二「【伝え合いの様子の一部】を基に【文章2】のよきを書く」問題の正答率が53.7%と、最も低くなっており、さらにこの問題の無回答率も6.3%と、やや高い数値である。普段の授業から、記述して自分の思いを伝える経験を増やしていく。	
【算数】どの領域もよく回答できている。一方で、2(3)「果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ」、2(4)「果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く」問題の正答率がそれぞれ37.9%、63.2%とやや低めなので、該当領域である「変化と関係」の基礎・基本問題を、授業中に丁寧に解いていく。	
【理科】どの領域もよく回答できている。一方で、3(1)「光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ」、3(4)「問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く」問題の正答率がそれぞれ29.2%、52.1%と低めなので、実験・観察など自ら体験したことをもとに知識・技能を高めていく授業を展開していく。	

2月〇〇日			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

2月〇〇日		評価(※)
成果指標に対する達成状況		
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

3月〇〇日		次年度への課題と改善策
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)